2 成績評価と単位認定

（1）成績評価と単位認定

・単位の修得には，所定の履修登録手続きを行い，授業に出席し，試験に合格することが必要です。
・試験は，授業担当の教員が原則として学期末に行いますが，試験のとき，理由なく無届けで欠席したときは不合格として扱われます。
・成績の評価は，S，A，B，C，Dで表記され，S，A，B，Cが合格となり，Dは不合格となります。
また，それぞれの記号は，100 点を満点としたとき，

S……100 点以下 90 点以上
A…… 90 点未満 80 点以上
B…… 80 点未満 70 点以上
C…… 70 点未満 60 点以上
D…… 60 点未満

を表します。
この「60 点」等の点数は，試験の素点を指すものではなく，複数の評価材料を総合して算出された点数を意味します。
・以下の項目に該当する場合、「D（放棄）」で表記され，不合格となります。
① 最終試験が未受験の場合あるいは最終課題（レポート等）が未提出の場合。
② 出席不良等，履修の継続意思及び学修を行う姿勢が著しく欠如していると認められる場合。

（2）ルーブリックを用いた学習評価

ルーブリックとは，学習の到達度を評価するための評価基準表のことです。
本学では修めるべき「学士力」（巻頭ⅴページ）にある各項目を身につけるために，それらの項目の達成度評価指標として「秋田大学汎用ルーブリック」を作成しており，各授業科目における成績評価の基準もこれを参考に設定されることがあります。「秋田大学汎用ルーブリック」は巻頭ⅵ・ⅶに掲載していますので，自身の学習の到達度を計る指標として活用してください。

（3）評定平均値（ＧＰＡ）について（２０２６年度入学者向け）

学生の学修状況を示す一つの指標として，教養基礎教育科目について評定平均値（GPA）を算出し活用することとしています。

教養基礎教育科目の評定平均値算出方法は次のとおりです。
① 各科目の成績について，次のポイントを与えます。
S：４ポイント，A：３ポイント，B：２ポイント，C：１ポイント，
D：０ポイント，D（放棄）：０ポイント
② 通算 GPA
通算 GPA＝

$$\frac{(\text{S 修得単位数}\times 4)+(\text{A 修得単位数}\times 3)+(\text{B 修得単位数}\times 2)+(\text{C 修得単位数}\times 1)}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

GPA の対象とする科目は，以下の科目から「初年次ゼミⅠ，Ⅱ」を除いた科目とします。

また，後述の「外国語技能試験等に対する単位認定」や「秋田県内の大学・短期大学・高等専門学校間単位互換」で単位認定を受けた科目も GPA の対象外となります。

学　　部	G　P　A　対　象　科　目
国際資源学部	教養基礎教育科目全科目
教育文化学部	主題別科目，基礎教育科目 ※学校教育課程は「情報処理入門Ⅰ，Ⅱ」を除く。
医学部医学科	教養基礎教育科目全科目
医学部保健学科	教養基礎教育科目全科目（自由科目を除く。）
総合環境理工学部	教養基礎教育科目全科目（基礎英語，自由科目を除く。）
情報データ科学部	教養基礎教育科目全科目（自由科目を除く。）

＜秋田大学の教育課程における科目設定＞

科目	科目群	分類	
教養教育科目	初年次ゼミ	※各学科・コース	
	主題別科目	現代社会	教養ゼミナール
		人間と文化	
		科学の探究	
		生活と保健	
		地域志向・キャリア形成	
		技能の活用	
	国際言語科目	英語	
		入門外国語	
		外国語活用演習	
		文献講読	
		日本語	
	スポーツ文化科目	スポーツ実技	
		スポーツ理論	
基礎教育科目	国際資源学部・基礎教育科目		
	教育文化学部・基礎教育科目		
	医学部・基礎教育科目		
	理工学部、総合環境理工学部・基礎教育科目		
	情報データ科学部・基礎教育科目		
専門教育科目			

なお，医学部医学科を除く全学部にて，専門科目も評定平均値（GPA）を算出しており、通算 GPA は anet の個人成績評価欄に表示されます。

③　学期 GPA

学期 GPA は，当該学期の修得単位数，履修登録単位数を通算 GPA 計算式で算出した数値です。

※学期 GPA は anet の個人成績評価欄に表示されます。

④　クラス GPA

クラス GPA＝

$$\frac{(\text{S 修得者数}\times 4)+(\text{A 修得者数}\times 3)+(\text{B 修得者数}\times 2)+(\text{C 修得者数}\times 1)}{\text{履修登録者数}-\text{「D（放棄）」の学生数}}$$

クラス GPA は，一覧表を anet で見ることができます。ただし，次の科目については公表を除外します。

・初年次ゼミ

・受講者が５名以下の少人数科目

（４）成績評価開示

成績評価は anet の成績照会画面で確認することができます。

成績照会画面で確認できる内容は，履修科目の成績，単位修得状況，GPA です。



成績評価は以下の時期に anet で開示します。詳細は anet で通知します。

前期成績開示開始時期：９月中旬

後期成績開示開始時期：３月下旬

（５）成績評価確認制度

教養基礎教育科目の成績評価について質問，疑問がある場合，未来人材共創機構を通じて，授業担当教員に確認することができます。

詳細は anet で通知します。



（６）単位認定に係る試験等における不正行為

試験において不正行為を行うことは学生の本分に反する重大な違背行為です。試験に際し不正行為を行った者については，教養基礎教育科目と専門教育科目の区分を問わず，当該学期に履修した全ての科目について成績評価を行わないこととし，所属する学部の学部長から厳重注意等の処分を行います。また，不正行為の内容によっては懲戒の対象とする場合があります（秋田大学教養教育科目及び基礎教育科目の成績評価に関する規程・第８条及び単位認定に係る試験等における不正行為の防止並びに取扱いに関する内規）。

○ 用語の定義

(1) 試験等とは，授業科目の成績評価のために実施する定期試験，小テスト，論文・レポートその他の行為をいう。

(2) 代返とは，出席者が欠席者の出席を装う行為をいう。

(3) 不正行為とは，カンニング，替え玉受験（代返を含む），論文・レポート等の盗用その他試験等において成績評価の公正を損なう行為をいう。

○ 不正行為の定義

不正行為の対象となる行為は，次のとおりとする。ただし，事前に許可された物品の使用は除く。

試験に係る不正行為	受験科目の内容を記入した物品を使用又は身の回りに所持する。
	机や身体等に不正な書き込みをする。
	教科書・参考書・ノート・プリントを使用又は身の回りに所持する。
	携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・電子辞書・電卓等の電子機器類を使用又は身の回りに所持する。
	他人の答案を筆写する，又は筆写させる（周囲に見えるように答案や姿勢をずらすことを含む）。
	私語・動作等によって不正な連絡をする。
	他人の答案用紙と交換する。
	本人以外の者が受験する。
論文・レポート等課題提出に係る不正行為	他人の著作物を盗用する行為，又は他人が書いた論文・レポート・著作物を自分のものとして提出する行為。
	論文・レポート等を作成して見せる，又は代筆する等，他の学生の盗用等を助ける行為。
	他人の著作物，Web上の情報等を参照・引用したにもかかわらず，引用部分の明示や出典の記載をせず，自身で作成したように記述する行為。
代返等の不正行為	他人に代返を依頼し出席したと偽る行為，また依頼を受けて代返する行為。
	出席カードの代筆を依頼し出席したと偽る行為，また依頼を受けて代筆する行為。
その他，上記に準ずる行為及び成績評価に支障が生じる行為。	

○ 単位の取扱い

不正行為と認定された場合の単位の取扱いは以下のとおりとする。なお，不正行為の内容によっては懲戒の対象とする場合がある。

試験に係る不正行為	教養基礎教育科目と専門教育科目の区分を問わず当該学期に履修した全ての科目について成績評価を行わず，履修を取り消す。なお，実習科目など再履修させることに困難を伴うものについては，学部の判断により，成績評価を行わない科目から除くことができる。
レポート等課題提出に係る不正行為	当該科目の成績評価を行わず，履修を取り消す。また，行為の悪質性を勘案し相当と判断される場合は，教養基礎教育科目と専門教育科目の区分を問わず当該学期に履修した全ての科目について成績評価を行わず，履修を取り消すことができる。なお，実習科目など再履修させることに困難を伴うものについては，学部の判断により，成績評価を行わない科目から除くことができる。
代返等の不正行為	当該日の出席は認めない。また，行為の悪質性を勘案し相当と判断される場合は，当該科目の成績評価を行わず，履修を取り消すことができる。
その他の不正行為	行為の悪質性等を勘案し相当と判断される場合は，上記に準ずる対応を行うことができる。